

## 地域密着型サービス評価の自己評価票

( ☐ 部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

| 項 目                |                                                                             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                 | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                  |
|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------------------------------------|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |                                                                             |                                                                 |      |                                                                   |
| <b>1. 理念と共有</b>    |                                                                             |                                                                 |      |                                                                   |
| 1                  | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている      | 入居者様1人ひとりの個性や持っておられる力を引き出し、その力を日常生活に発揮していただけるような支援を心がけている。      |      |                                                                   |
| 2                  | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                         | グループホームについての知識や理念を深めるため、勉強会等を通じて、共有化を図っている。                     |      |                                                                   |
| 3                  | ○家族や地域への理念の浸透<br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | ホームページやパンフレットに理念を記載している。                                        | ○    | 運営推進会議だけではなく、地域の方々との関わりを持てる機会を作り、グループホームについて理解していただけるよう取り組んでいきたい。 |
| <b>2. 地域との支えあい</b> |                                                                             |                                                                 |      |                                                                   |
| 4                  | ○隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 近隣の方々への挨拶は行っているが、気軽に立ち寄っていただけるような日常的な付き合いは現時点では持っていない。          |      |                                                                   |
| 5                  | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている   | 地域のスーパーを日常的に利用している。又、餅つきや送り火鑑賞等の施設行事開催の際には、地域住民の方々にも参加を呼び掛けている。 | ○    | 運営推進会議時や、市町村と連携を図りながら情報収集し積極的に地域の行事に参加していきたい。                     |

| 項 目                   |                                                                                                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                          | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)         |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|------|------------------------------------------|
| 6                     | <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>                  | 認知症あんしんサポートリーダーとして、地域で開催されるサポーター養成講座のファシリテーター等として参加させてもらっている。            | ○    | 活動の場を地域へと広げて行くことで、施設と地域住民との関わりを増やしていきたい。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |                                                                                                              |                                                                          |      |                                          |
| 7                     | <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>                           | 今回が初回であるため、外部評価の意義について共有化を図った。又、自己評価に関しては職員間で話し合いながら行った。                 |      |                                          |
| 8                     | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>           | 2カ月に1回開催している。会議の中で、事業所の現状報告を行い、又、ご家族、地域の方々からも意見・要望等をいただき、改善していけるよう努めている。 |      |                                          |
| 9                     | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>                            | 必要に応じて、市町村の担当者に連絡・相談をしている。                                               |      |                                          |
| 10                    | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> | 事業所内で勉強会を実施している。現在のところ、該当者はおられない。                                        | ○    | 今後、外部講師を招き、制度を学んでいきたい。                   |
| 11                    | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>            | マニュアルを作成し、新規採用職員に対して必ず研修を実施している。                                         |      |                                          |

| 項 目             |                                                                                                      | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                          | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)       |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------------|
| 4. 理念を実践するための体制 |                                                                                                      |                                                                          |      |                                        |
| 12              | ○契約に関する説明と納得<br>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                                 | 入所後に不安を残さないよう、不安な点や疑問点をしっかりと聴きとり、納得・理解していただけるような説明を心掛けている。               |      |                                        |
| 13              | ○運営に関する利用者意見の反映<br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 利用者の日常生活における不満等に対しては十分に傾聴し、会議等で検討した上で速やかに対応している。                         |      |                                        |
| 14              | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 健康状態の大きな変化に関しては、速やかに電話にて連絡・報告している。日常生活の様子等については、面会時や電話にて報告している。          |      |                                        |
| 15              | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 重要事項説明書に事業所における苦情受付窓口及び外部の苦情受付窓口を記載している。                                 | ○    | 運営推進会議のメンバーから意見等を聞いて、その意見を参考にして対応している。 |
| 16              | ○運営に関する職員意見の反映<br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                            | 職員会議にて意見交換を行っている。職員個々の意見に関しては、人事考課に伴う面接(常勤職員)や、必要時に個人面談を行い、意見を聴くようにしている。 |      |                                        |
| 17              | ○柔軟な対応に向けた勤務調整<br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている                      | 法人本部人事部と話し合いを持ち、状況に応じた必要人数の確保を行っている。又、日常的には状況に応じて勤務を調整(人数・時間)するよう努めている。  |      |                                        |
| 18              | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 異動は最小限にとどめている。                                                           |      |                                        |

| 項 目                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                          | (○印)                                                                    | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |                                                            |
|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------------------------------|
| <b>5. 人材の育成と支援</b>               |                                                                                                          |                                                                         |                                  |                                                            |
| 19                               | <b>○職員を育てる取り組み</b><br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている           | 人事考課を導入しており、それぞれに計画目標を立て、自己の振り返りや面接を実施している。今年度から新たに教育育成プランを作成し充実を図っている。 | ○                                | 京都市主催の認知症研修や、介護支援専門員基礎研修等に参加させていただいており、今後は施設内研修を充実させていきたい。 |
| 20                               | <b>○同業者との交流を通じた向上</b><br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム協議会に入会し、研修やブロック会議等を通じて他事業所との交流機会を確保している。                         | ○                                | 入居者様のケアや運営に関しての相談を行い、質の向上につなげたい。                           |
| 21                               | <b>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</b><br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる                                    | 個々の職員との定期的なコミュニケーションにより、業務上の悩み等危機対応している。又、休憩時に1人になれる場所の提供等で対応している。      |                                  |                                                            |
| 22                               | <b>○向上心を持って働き続けるための取り組み</b><br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている                        | 実績、勤続年数、資格で昇進する仕組みがある、又、職務について達成感を得られる機会を作り、モチベーションの向上に努めている。           |                                  |                                                            |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>       |                                                                                                          |                                                                         |                                  |                                                            |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |                                                                                                          |                                                                         |                                  |                                                            |
| 23                               | <b>○初期に築く本人との信頼関係</b><br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている             | 相談等には十分に時間をとり、傾聴するよう努めている。                                              |                                  |                                                            |
| 24                               | <b>○初期に築く家族との信頼関係</b><br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                  | 相談等には十分に時間をとり、傾聴するよう努めている。                                              |                                  |                                                            |

| 項 目                       |                                                                                                        | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                            | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                        |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------------|
| 25                        | ○初期対応の見極めと支援<br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                               | 相談を受けた際には、主訴を理解し、必要なアドバイスを行う等している。                                                                         |      |                                                         |
| 26                        | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | まずは施設見学をして頂き、施設内の雰囲気等を確認していただいている。                                                                         |      |                                                         |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 |                                                                                                        |                                                                                                            |      |                                                         |
| 27                        | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | 入居者様一人ひとりに担当者を定め、その職員が中心となりながら、日常的な生活支援を行っている。                                                             |      |                                                         |
| 28                        | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている                                 | 面会に来られた際等、入居者様の様子を報告し、情報交換を行っている。又、日常生活に何らかの変化がみられた際には、ご家族に状況報告を行い、今後どのように支援していくのか等を、ご家族の思いを確認しながら、決定している。 |      |                                                         |
| 29                        | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している                                     | 面会に来やすい環境作りや、施設内での行事の際はご家族へ参加を呼び掛け、入居者様とご家族の関わりの場を作っている。                                                   |      |                                                         |
| 30                        | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                                       | 事業所近隣の散策等を行っている。その中で、時折、入居者様の昔馴染みの方々との出会い等もある。                                                             | ○    | ご家族と連携を取りながら、入居者様が行きたい場所や記憶に残っている場所との関係を継続できるようにしていきたい。 |
| 31                        | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている                                      | 入居者様一人ひとりの生活ペースを大切にしながらも、日常生活上の様々な場面でご入居者様同士が交流を図れる機会を確保するよう努めている。                                         |      |                                                         |

| 項 目                                |                                                                                                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                    | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                     |
|------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|------|------------------------------------------------------|
| 32                                 | ○関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている                      | 該当ケースがない。                                                          |      |                                                      |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |                                                                                                     |                                                                    |      |                                                      |
| 1. 一人ひとりの把握                        |                                                                                                     |                                                                    |      |                                                      |
| 33                                 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                        | アセスメント時に、入居者様の意向や希望等を聴きとっている。また、ご家族と都度話し合いを行い、ご本人にとって最善の方法を検討している。 | ○    | 日常会話を通じて、聞き取りを行った際は、ケース記録に記載できるようにしていく               |
| 34                                 | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | センター方式を使用し、ご家族の協力を得ながら情報収集を行っている。                                  | ○    | 日常会話を通じて聞き取った際は、ケース記録に記載しながら、全職員で入居者様一人ひとりの把握に努めていく。 |
| 35                                 | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている                                          | センター方式を使用し、計画作成担当者と担当介護職員が中心になり、情報の収集を行い、又、定期的に見直しを行っている。          |      |                                                      |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し     |                                                                                                     |                                                                    |      |                                                      |
| 36                                 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | ケアプラン作成の際には、ご本人及びご家族に参加していただき、それぞれの思いを確認している。                      |      |                                                      |
| 37                                 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 定期的にモニタリングを行っている。又、状態等に大きな変化がみられた際には、会議を開催し、話し合う機会を持っている。          |      |                                                      |

| 項 目                         |                                                                                | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)            |
|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------|
| 38                          | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている    | ケアプランの実施状況や、日々の様子等をケース記録に記載している。又、連絡ノートを使用して、職員間の情報交換・共有を行っている。                                  | ○    | ケアにつなげるための記録内容や方法を学び、充実を図っていきたい。            |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援           |                                                                                |                                                                                                  |      |                                             |
| 39                          | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている              | デイサービス、有料老人ホームと併設されているため、行事等を通じて交流を図っている。                                                        | ○    | もちつき大会や大文字観賞を実施し、入居者様とご家族や地域住民の方との交流の場を設けた。 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 |                                                                                |                                                                                                  |      |                                             |
| 40                          | ○地域資源との協働<br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している             | 防災訓練の実施のため、上京消防署から来所してもらっている。                                                                    |      |                                             |
| 41                          | ○他のサービスの活用支援<br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている  | 該当ケースがない。                                                                                        |      |                                             |
| 42                          | ○地域包括支援センターとの協働<br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 該当ケースがない。<br>運営推進会議の際に、地域包括支援センター職員と情報交換をする機会がある。                                                |      |                                             |
| 43                          | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入居前からのかかりつけ医に関しては、ご家族を通じて連携を図っている。入居後、事業所近隣の内科医を主治医にされた方は、定期的な往診や状態変化時の柔軟な対応等、施設側と連携を図りながら行っている。 |      |                                             |

| 項 目 |                                                                                                                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                            | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                  |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------|
| 44  | ○認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している                                              | 個人的に専門医に受診している入居者様はおられるが、事業所としては実施できていない。                                  | ○    | 認知症の知識を深めるためにも、専門医との関係を築いていきたい。                   |
| 45  | ○看護職との協働<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている                                                             | 併設している他事業所の看護師と連携を図り、定期的な健康チェック等の支援を受けている。                                 |      |                                                   |
| 46  | ○早期退院に向けた医療機関との協働<br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している                      | 現在までのところ入院者は出ていないが、必要が出てくれば主治医の指示により対応する。                                  |      |                                                   |
| 47  | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している                                   | 実施していない。                                                                   |      |                                                   |
| 48  | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 実施していない。                                                                   |      |                                                   |
| 49  | ○住み替え時の協働によるダメージの防止<br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている                      | 入居時には、使い慣れたものを持参していただき、又、不安の軽減のため、ご家族に面会の機会を増やしていただいたり、こまめな情報交換を行うよう努めている。 | ○    | 入居時、入居者様の状況に応じ、ご家族に泊まっていただくことができるように簡易ベッドを用意している。 |

| 項 目                             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                        | (○印)                                                                        | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                       |
|---------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| <b>Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |                                                                                        |                                                                             |                                                        |
| 1. その人らしい暮らしの支援                 |                                                                                        |                                                                             |                                                        |
| (1) 一人ひとりの尊重                    |                                                                                        |                                                                             |                                                        |
| 50                              | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                     | 個人情報取り扱いやプライバシー保護については、研修を実施すると共に、日常的にも十分に留意している。                           |                                                        |
| 51                              | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 日常会話等を通じて思いを把握したり、又、思いを表しにくい入居者様に対しては、選択肢を提示して選んでいただく等、自己決定していただけるよう支援している。 |                                                        |
| 52                              | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している       | 入居者様一人ひとりの生活ペースを大切にし、できるだけ要望に沿った支援ができるよう努めている。                              |                                                        |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援   |                                                                                        |                                                                             |                                                        |
| 53                              | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている                  | 入居者様の要望等に応じて対応できるよう努めている。                                                   | ○ 近隣の美容院や入居前から利用していた美容院を利用しておられる。又、希望により訪問散髪等を利用されている。 |
| 54                              | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている           | 三食共、入居者様と共に食事作りや片付け等を行っている。又、昼食・夕食は職員と共に食事している。                             |                                                        |
| 55                              | ○本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している                  | 買い物時に選んでいただいたり、手作りおやつ時には、ご利用者と相談しながらメニューを決めている。                             |                                                        |

| 項 目                           |                                                                                  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                         | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 56                            | ○気持よい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している         | ご利用者の排泄状況を把握し、状況に応じた排泄用具を使用している。又、必要に応じて、排泄チェック表を記入している。                |      |                                  |
| 57                            | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している    | 入浴日は施設側が決定しているが、何らかの事情があれば入浴日を変更する等、柔軟に対応している。又、夏期には入浴回数を増やす等の対応を行っている。 |      |                                  |
| 58                            | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している                     | 入居者様一人ひとりの生活ペースに応じて支援している。                                              |      |                                  |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |                                                                                  |                                                                         |      |                                  |
| 59                            | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている  | 入居者様の「できること」を生かして、調理、掃除等の家事や、植木、菜園の水やり、音楽の演奏や歌をうたったりして過ごしていただいている。      |      |                                  |
| 60                            | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 施設では管理していないが、少額程度であればご本人希望で所持されている方もおられる。必要に応じて、おこづかい帳の記入等の支援を行っている。    |      |                                  |
| 61                            | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                    | 近隣への散策や買い物、園芸(水やり)等は、ご利用者と共に行っている。お墓参り等の個人的な外出については、ご家族に支援をお願いしている。     |      |                                  |
| 62                            | ○普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 要望があれば、ご家族に支援をお願いしている。                                                  | ○    | 季節に応じて、花見や紅葉ドライブ、初詣で外出を行っている。    |

| 項 目             |                                                                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                             | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                 |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------|
| 63              | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                  | 公衆電話は設置されていないが、入居者様から希望があれば、事務室内の外線電話を使用して頂いている。                            |      |                                                  |
| 64              | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している                   | 面会に来られたら、一緒にお茶を飲んでいただく等、ゆっくりしていただけるよう配慮している。                                |      |                                                  |
| (4) 安心と安全を支える支援 |                                                                                         |                                                                             |      |                                                  |
| 65              | ○身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | マニュアルを作成し、新規採用職員に対して必ず研修を実施している。現状において、身体拘束は行っていない。                         |      |                                                  |
| 66              | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                  | 玄関口に鍵を設置しているが、昼間は開錠している。                                                    |      |                                                  |
| 67              | ○利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している                           | 日中、居室で過ごされている場合は、定期的に安全確認のために訪室し、様子把握に努めている。又、夜間は、1時間毎に巡回を実施している。           |      |                                                  |
| 68              | ○注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている                     | 居室内に関しては、入居者様個々の状況に応じて、物品の保管場所を考慮し注意している。一括で薬品を保管している倉庫に関しては、鍵をかけ安全に配慮している。 |      |                                                  |
| 69              | ○事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる                  | 「ヒヤリハット」「事故報告書」の記入、又、連絡ノートの活用によって職員間で情報を共有し、事故防止に取り組んでいる。                   | ○    | 入居者様一人ひとりの状態に応じて、起こり得るリスクを検討し、事故発生防止の知識を学んでいきたい。 |

| 項 目                        |                                                                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                               | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                    |
|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------------------------|
| 70                         | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている                 | マニュアルを作成し、新規採用職員に対して研修を実施している。                                                                                | ○    | 急変時や事故発生時の初期対応の訓練に取り組んでいきたい。                        |
| 71                         | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている   | 避難訓練を定期的実施している。                                                                                               |      |                                                     |
| 72                         | ○リスク対応に関する家族等との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | 入居前の面接時や面会時、サービス担当者会議等にて、現在の状況及び今後起こり得るリスクを説明している。                                                            |      |                                                     |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |                                                                              |                                                                                                               |      |                                                     |
| 73                         | ○体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている           | 普段との違いや異変等に気付いた際は、バイタル測定を実施し、状態の把握し職員間で情報を共有している。併設している他事業所の看護師による、定期的な健康チェックを実施し、緊急時等は連絡を取り、早急に対応できるようにしている。 | ○    | 月1回、体重測定を実施しており、毎週実施している方もおられる。また、主治医へ必要に応じて相談している。 |
| 74                         | ○服薬支援<br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている       | 服薬の目的・効果等を記載した一覧表を作成している。又、普段より入居者様の服用状況や症状等を把握に努め、主治医及びご家族と連携を図っている。                                         |      |                                                     |
| 75                         | ○便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる         | 毎日、10分程度の体操等、身体を動かす機会を作っている。                                                                                  |      |                                                     |
| 76                         | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている                   | 介助が必要な入居者様には、声掛けや一部介助等、一人ひとりに応じた支援を行っている。                                                                     | ○    | 口腔ケアの支援方法を、歯科衛生士より学んでいきたい。                          |

| 項 目                     |                                                                                                           | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                            | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)      |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------|
| 77                      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 適宜、お茶等の水分を提供している。入居者様の食事摂取量を把握し、必要に応じて食事チェック表に記入している。又、併設している他事業所の管理栄養士に栄養面や食事内容に関しての相談を行っている。             |      |                                       |
| 78                      | ○感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)                                         | マニュアルを作成し、新規採用職員に対して必ず研修を実施している。又、勉強会を実施し、感染症に対する知識向上や予防に取り組んでいる。                                          |      |                                       |
| 79                      | ○食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている                                        | マニュアルを作成し、新規採用職員に対して必ず研修を実施している。又、併設している他事業所の管理栄養士に相談し、衛生管理に努めている。                                         | ○    | 職員会議で話し合い、適切な物品管理が行えるように都度、見直しを行っている。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり |                                                                                                           |                                                                                                            |      |                                       |
| (1)居心地のよい環境づくり          |                                                                                                           |                                                                                                            |      |                                       |
| 80                      | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | 建物の入り口に菜園を作り、水やりの際には、来客者とのコミュニケーションを図る場となっている。又、グループホーム玄関には、飾り付け等を行い、雰囲気作りを行っている。                          |      |                                       |
| 81                      | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 清潔で居心地の良い空間作りに努めている。季節に応じて、花や行事の飾りを行い、季節感を感じることができるよう努めている。                                                |      |                                       |
| 82                      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                              | 共有空間が1カ所しかない為、独りになるためには居室しかない。しかし、入居者様の過ごしやすい場所、気の合う入居者様同士で過ごすことができるように、リビング内の物品の配置を工夫し、必要に応じて配置換え等を行っている。 |      |                                       |

| 項 目                     |                                                                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                           | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|
| 83                      | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居者様が居心地良く過して頂けるよう、自宅から持ち込みをして頂いている。入居者様の状況によっては、入居者様やご家族へ提案等の相談を行っている。   |      |                                  |
| 84                      | ○換気・空調の配慮<br>気になるにおいや空気のだよみがないう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている         | 入居者様の様子や意見を聞き、状況に応じて、都度、室温調節を行っている。換気に関しては毎日行っている。                        |      |                                  |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |                                                                                         |                                                                           |      |                                  |
| 85                      | ○身体機能を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                 | 建物内部は全てバリアフリーになっている。                                                      |      |                                  |
| 86                      | ○わかる力を活かした環境づくり<br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している                           | 居室前には表札や暖簾を使用することによって、入居者様にわかりやすいよう工夫している。また、個々の状態に対応し、居室内の物品の配置等を工夫している。 |      |                                  |
| 87                      | ○建物の外周りや空間の活用<br>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている                                   | 建物周辺の一角で菜園を行っている。毎日、職員と共に水やりを行い、植物の成長を感じたり、自然(季節)の物と触れ合うことで、気分転換の場となっている。 | ○    | 園芸を充実させたい。                       |

| V. サービスの成果に関する項目 |                                                 |                       |              |
|------------------|-------------------------------------------------|-----------------------|--------------|
| 項 目              |                                                 | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |              |
| 88               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                     | ○                     | ①ほぼ全ての利用者の   |
|                  |                                                 |                       | ②利用者の2/3くらいの |
|                  |                                                 |                       | ③利用者の1/3くらいの |
|                  |                                                 |                       | ④ほとんど掴んでいない  |
| 89               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                        | ○                     | ①毎日ある        |
|                  |                                                 |                       | ②数日に1回程度ある   |
|                  |                                                 |                       | ③たまにある       |
|                  |                                                 |                       | ④ほとんどない      |
| 90               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                           | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |                                                 |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |                                                 |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |                                                 |                       | ④ほとんどいない     |
| 91               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |                                                 |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |                                                 |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |                                                 |                       | ④ほとんどいない     |
| 92               | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                          |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |                                                 |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |                                                 | ○                     | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |                                                 |                       | ④ほとんどいない     |
| 93               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                    | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |                                                 |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |                                                 |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |                                                 |                       | ④ほとんどいない     |
| 94               | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている         | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |                                                 |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |                                                 |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |                                                 |                       | ④ほとんどいない     |
| 95               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている | ○                     | ①ほぼ全ての家族と    |
|                  |                                                 |                       | ②家族の2/3くらいと  |
|                  |                                                 |                       | ③家族の1/3くらいと  |
|                  |                                                 |                       | ④ほとんどできていない  |

グループホーム千本笹屋町

| 項 目 |                                                         | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |              |
|-----|---------------------------------------------------------|-----------------------|--------------|
| 96  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                        |                       | ①ほぼ毎日のように    |
|     |                                                         |                       | ②数日に1回程度     |
|     |                                                         |                       | ③たまに         |
|     |                                                         | ○                     | ④ほとんどない      |
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている |                       | ①大いに増えている    |
|     |                                                         |                       | ②少しずつ増えている   |
|     |                                                         | ○                     | ③あまり増えていない   |
|     |                                                         |                       | ④全くいない       |
| 98  | 職員は、生き活きと働けている                                          |                       | ①ほぼ全ての職員が    |
|     |                                                         | ○                     | ②職員の2/3くらいが  |
|     |                                                         |                       | ③職員の1/3くらいが  |
|     |                                                         |                       | ④ほとんどいない     |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           |                       | ①ほぼ全ての利用者が   |
|     |                                                         |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|     |                                                         | ○                     | ③利用者の1/3くらいが |
|     |                                                         |                       | ④ほとんどいない     |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       |                       | ①ほぼ全ての家族等が   |
|     |                                                         | ○                     | ②家族等の2/3くらいが |
|     |                                                         |                       | ③家族等の1/3くらいが |
|     |                                                         |                       | ④ほとんどできていない  |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

平均要介護度が1.89と比較的ADLが高く、日常生活においても自立しておられる方が多い。この為、日常生活に組み込んだ利用者のできること、裁縫、調理、掃除、菜園など以前から担ってこられた役割を中心に、利用者が実施できるように支援している。立地的に商業地域に位置しており、商店街やスーパー、コンビニ、美容院等に歩いていくことができる為、食材や物品等を買いに外出することができ、利用者自身の気分転換にもつなげることができる。